

【教育目標】

- 【知】自ら学び、考え、進んで行動する人
- 【徳】互いを尊重し、協力する人
- 【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 電話3399-2196



“制限”と“自由”

校長 香西 雅斗

年明けより新型コロナ変異株が若年層を中心に急速に広まりました。今回の変異株は、感染力が本当に強く、黙食をしても、またマスクをしても、長い時間一緒にいたり荷物を持つなどの接触でも感染が広がる場合があることが分かってきました。

中瀬中ではこれまでのところ、校舎内や校庭での感染拡大はありません。教室や廊下などのドアと窓を常時空けている効果かもしれません。(十分な換気が難しかったスキー教室では感染の広がりがありました。)生徒たちにも負担をかけますが、“換気の徹底”をもう一息頑張っていると考えています。



<ビオトープで収穫された中瀬米>

さて、三年生と面接練習をする中で「制限があまりなく自由なところが良い」という志望理由がありました。「制限がないこと」が「自由」なのでしょう。

日本より自由とされるアメリカの高校は、髪型や服装に制限がなく、授業中ものを食べても良い学校が多いなど、好き勝手に気ままが許される印象がありますが、示された決まり(例:3回授業に出ないと単位を落とす)については、例外が認められない厳しさがあります。

当たり前ですが“全く制限がない”状態はあり得ません。私達は突き詰めると、育った時代や場所を選べない、時間と空間そして言語と文化に制限を受けている存在なのです。

では私達には“自由”はないのでしょうか。そもそも日本における「自由」という思想は、福沢諭吉が liberty を「自らをもって由となす」と訳したのが始まりとされています。“制限”は誰かにされるものですが、“自由”は誰かから与えられるものではありません。

右は名脚本家の木皿泉のシナリオにより、平成19年に放映された「セクシーボイスアンドロボ」の中の、主人公の中学生ニコと、謎の骨董屋店主マキ(往年の大女優 浅丘ルリ子)のやりとりです。

「押し付けられるのが嫌なんだ。」(マキ)
 「誰だって嫌です。自分を殺すっていうか、自分がなくなるっていうか。」(ニコ)
 「自分のやりたい事をやるのが、自分らしく生きるって事だと思ってるんだ。」
 「違っんですか?」
 「違っわね。全然違っ。気の進まない仕事でも、押し付けられたことでも、自分のやり方でやり通す。」
 「それが、自分らしく生きるってこと。」

中瀬中はコロナ禍の制限で、体育大会3年の学年種目の大ムカデができませんでした。でも3年生は新しい種目(バディジャンプ)を編み出すなど、見事な体育大会を作り上げました。そんな中瀬生にふさわしいのは「コロナ禍で自由がなかった」ではなく「厳しい制限の中でも、自分たちで中瀬中らしい取組をつくった」という言葉ではないでしょうか。これこそが中瀬生の“自由”だと思います。

「これからの時代、どうにもならない“制限”はある。制限の中でいかに工夫し(可能性を)広げていくのが、目指すべき中瀬~3B 西山 明里」

アンケートの自由記述欄より

1月6日(木)の教員・CS(学校運営協議会)の合同研修会で、本年度の学校アンケートの生徒・保護者の自由記述欄について意見交換を行い、CSでまとめた結果を紹介していきます。

【1】タブレット (生→生徒、保→保護者、1→1年生 …)

<p>「荷物が重い。学校へはタブレットとノート、教科書は自主学習用で家で使うようにできないか」(生1、保1)</p> <p>↓</p> <p>今年度より教科書などを学校に置いてもいいことになっていきます。生徒の教科書もデジタル化され、軽くなるのも遠くないと思います。</p> <p>なおタブレットには小一〜中三の授業動画とドリルのアプリ(学びポケット)が入っています。家庭での自主学習に活用できます。</p>	<p>「授業に、もっとタブレットを取り入れて欲しい。」(生3、保3)</p> <p>↓</p> <p>今年度途中から導入されたタブレット。紙上が有効な内容もあり、工夫の途中です。</p> <p>とは言え、ノウハウの蓄積も進んできましたので、新年度最初の保護者会で、ロイロノートの活用を紹介し</p>	<p>「ロイロノートの体温記録をスマホなどから入力できると良い。」(保1、3)</p> <p>↓</p> <p>技術的には可能だと思えますが、杉並区の今のルールではできません。意見にもありましたが、遠出をした時の体温記録や、生徒からの連絡手段でもあるので、他の端末からの入力が安全なシステムができると良いと思います。</p>
--	---	--

「タブレットがあり、授業で分からないことを気軽に調べられたり練習問題に取り組みたりして一層はかどっている気がする。(生2)」という声もありました。

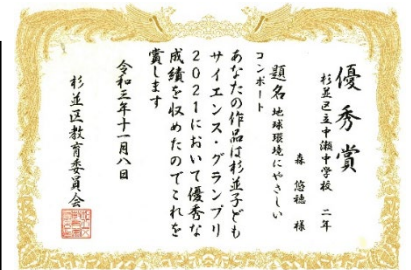
今年度の試行錯誤をもとに、**新年度からは右の枠を基本**とします。

また保護者の方への案内などについても、**二斉メールとシェアポイント**を利用し、ペーパーレス化を進めます。ただし、行事の参加確認などは紙面で行うとともに、学校・学年・学級だよりは、生徒に配布するとともにシェアポイントに置きます。

- (1) 授業プリントはロイロノートの資料箱に置く。
・紛失は自分で印刷 ・家からでも閲覧、提出可
- (2) 夏休みのしおり(課題を含む)などは、印刷せずロイロノートの資料箱に置く。 ← ペーパーレス化
- (3) 数・社・理・英の家庭学習・自習は、タブレットのアプリ「学びポケット(イーボード、ナビマ)」を推奨。
- (4) 問題演習で「学びポケット」「ミライシート」を活用。

【2】授業・テスト

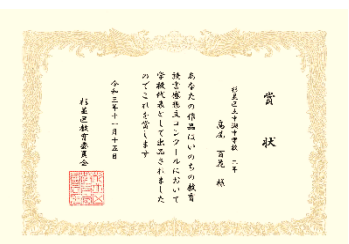
<p>漢字が正確に書ける必要があるのか、言葉を知っていればOKなのか、基準は狙いによって異なります。</p> <p>↓</p> <p>「数学の空間図形の授業時期を早くしてほしい。都立にできる。」(生3)</p>	<p>空間図形の問題は平面・相似・三平方などの総合です。授業で扱うのはそれらの分野の後になります。夏の学習会や朝勉強会では、基礎の超速解説の上で、扱っています。</p>
---	--



<夏休み自由研究 サイエンスクラブ 優秀賞 2B 森 悠穂>

<p>「数学のテストが応用が多く、難しい。勉強しても分からないし、見直しもできないので凡ミスも多い。」(生1)</p> <p>↓</p> <p>都立入試の数学を目安にすると ○「見直し」の時間の確保は難しい ○覚えていけばできる問題はでない ○約半分が基本的技能、残りは応用です。時間をかけて、考えて解くことに慣れていきましょう。</p>	<p>感謝状 杉並区立中瀬中学校 山川 倫太郎 さん あなたは令和三年度全道中学生人権作文コンテストに素晴らしい作品で多くの賞をいただき、大変おめでとうございます。 これからは自分自身の人権を大切にする人間に成長し続けていってほしいことを心から願っています。 令和三年七月 東京人権擁護委員協議会 杉並人権擁護委員(二) 藤原 隆子</p>
---	--

<夏休み自由研究 人権作文 感謝状 2D 山川 倫太郎>



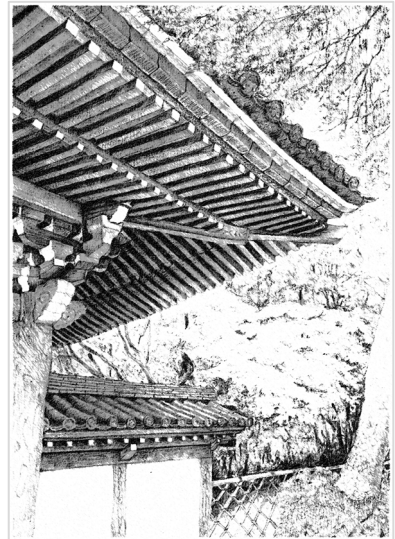
<夏休み自由課題 いのちの教育 賞状 2C 高尾 百花>

<p>「テスト中に手を挙げたが、中々気づかれなかった。(生3)」 「板書が終わったらどちらかに寄ってほしい。」(生3)</p> <p>↓</p> <p>そうならない様にします。</p>	<p>「授業で触れていないところがテスト範囲になっていた。」(生3)</p> <p>↓</p> <p>単元の中で扱いの濃淡(じっくり、あっさり)はあります。とは言え 「教科書P〇から△までは読んでおいて。」 などで、範囲になることはありえませんが、確認します。</p>
--	--

「中瀬中学校の先生方はとてもいい方が多く、授業には満足しています(生3)」
「出された課題をこなすだけでなく、自分で考えて取り組む、生徒間での意見交換やコミュニケーションを増やしてほしい(生3)」
「授業にただ参加するだけでなく、自分の目標を立てて参加したい(生3)」
という声もありました。しっかり受け止め、大切にしていきたいです。

【3】ゴミの持ち帰り（コロナ対応）

「教室のゴミ箱を元に戻すのはできないでしょうか」（生3）
 「ゴミを持ち帰るとリュックの中が汚れます。」（保3）
 ↓
 『人の物に触らない』ために、自分が出したごみは、基本、自分で持ち帰っています。
 そうすることで、校内での感染症拡大の可能性を少しでも下げようとしています。
 特に、唾液や鼻水などが付着している可能性のある物の接触は、極力ないようにと考えています。今しばらく協力をお願いします。



＜北星 鉛筆画・色鉛筆画コンテスト 入選 3A 島村 智薫＞

【4】ルール（服装）

「靴下が白なのはなぜなのでしょう。学校として、生徒から自発的な申し出を待っていらつしやるのかもしれませんが、待っていたら卒業の年になってしまいます。」（保2,3）
 ↓
 換気の徹底と寒さ対応で、ヒートテックの利用など、服装の幅が広がりましたが、これはコロナ禍以前から始まっている『生徒主体の中瀬中』への動きとは一緒ではありません。
 現在、生徒たちは、全校生徒で承認された中瀬生徒憲章に基づき、生徒が自分たちでルールを決めて自治を行うために、生徒会役員を中心に取り組みを進めています。
 そのために今、自分たちで決めた『タブレット使用のルール』について、自分たちの使い方や、お互いの声かけの状況を見直しています。
 教員に「『お願いします』ではなく、新標準服の選定を機にルールを自分たちで考え、中瀬生らしく着こなしていく自治の姿勢を大切にしていきたいと考えています。」

【5】トイレ・蜂

「トイレは修理しないのでしょうか？」「夏場、蜂がたくさん飛んできます。駆除は？」（保3）
 ↓
 必要な修理はしています。（古いタイプで部品がない場合もあります）
 校内の蜂の集まる木の伐採は行いました。校外の巣は、地域の方から駆除を区に要請してもらいました。

【6】踏切による遅刻免除、自転車通学

「踏切遅刻を免除にすると、踏切でなくてただの寝坊で遅刻した人が嘘をついたりする。」（生3）
 ↓
 余裕をもっての登校が基本です。ただ西武線遅延などの情報があり、踏切が開かなかった場合は、遅刻扱いにはしていません。（西武線利用の教員がいるのではほぼ把握できます）。その場合は、焦らずに登校しましょう。
 「八成学区は大変なので、自転車通学を許可しても良いと思う。事故にあった場合は、個人に責任を負わせるルールにすれば、みんな気を付けるので、事故にあいづらくなると思う。」（生1）
 ↓
 杉並区は、徒歩での通学が適正な学区となっております。
 なお「自己責任だからやって良い」は間違っています。自転車は加害者になることもあるのでなおさらです。



＜夏休み自由研究 明るい選挙啓発 東京都参加賞 1B 阿部 春日＞

【7】席替えの方法（特別活動）

3A 阿部 心 さんも、東京都参加賞→

「中学になると席替えの方法が独特。生徒主体に考えさせるという口実ですが、上手くいっているように見えるが、陰では当然生徒同志で取引がある。いじめを見て見ぬ振りをしていいるのと変わらないのでは？口数が少なく意見を言い出せない大人しい人には何も決める権利はないのですか？」（保3）
 ↓
 『学級活動』については、学習指導要領の『特別活動』で「集団の課題を見いだし、自主的に解決するために話し合い、人間関係をよりよく形成する資質・能力を育成する」などの目標などが示されています。
 席替えを伴う班作りはそのための取組の一つで、班長に選ばれた生徒たちを中心に、自分や自分の班だけでなく、学級全体を視野に、一人一人の事情もできるだけ踏まえて、班づくりに取り組んでいます。
 もちろん100%完璧ではありませんが、生徒たちの成長のために行っている取組です。何かあれば校長・副校長に声をかけてください。

【8】水泳の評価

「小学校の水泳授業が減り、習いに行かなければ泳げる様になるのは無理だと感じています。学校外の習い事で習得する技術が前提となっている気がしますが、それが評価に影響することがとても心配です。」（保1）
 ↓
 一、「知識・技能」は評価の三つの観点の一つです。また水泳の技能は速さ以外にもたくさんあります（生徒の水泳ノートを参照してください）。
 二、評価の観点の三番目の「主体的に学習に取り組む態度」は、「結果や能力」ではなく、上手に泳げることを目指す「努力と工夫の質」への評価です。
 ※一、二とも習い事をしていれば有利とは限りません
 三、習い事など、事前の学習が《有効》なことは、水泳に限らずあります。それが良くないとは言えないと考えます。
 そもそも全ての事が得意な人は、まずいません。そして得意・不得意を客観的に知ることは、自分の進路を考えていくうえで重要な要素の一つです。

【9】その他

「学校からのお手紙をいつも興味深く拝見しています。日々の子供の接し方の参考にしています。」(保1・3)

「なかなか学校に足を運ぶ機会がありませんが、お陰様で学校の存在をとても近くに感じる事ができ中瀬中で本当に良かったと思います。」(保3)

などの声もいただきました。紹介しきれなかった記述などはシェアポイントに入れておきます。

「学校では、色々な人と関わられるよう工夫されているのが分かります。ただ子どもによつては新しい環境や人に慣れるまでに時間が掛かるなど、難しいこともあるので、配慮をいただけるとうり難いです。」(保2)

↓

個別に配慮が必要な時は、できれば本人から、もしくは保護者から相談ください。

「職員室に行った際、必ず子どもの方を見て対応くださる先生もいらつしやる一方、何度挨拶をしても振り向いてくださらず、用事があつても職員室に行くのに勇気が入り、ためらうようになつたとこぼしています。お忙しいことは十分承知の上で恐縮な話ですが、よろしくお願ひします。」(保1)

↓

改善します。改善されてない場合は、校長・副校長に連絡ください。

※なお自由記述欄については、これまでもCSとの話し合いを経て学校だよりに載せていたのですが、ここ2年間、年明けのコロナ禍に追われ対応ができませんでした。申し訳ありませんでした。

駅伝大会男女優勝～これが中瀬の流儀～

12月12日(日)に行われた杉並区中学校対抗駅伝大会で中瀬中は、男子は3連覇、女子は初優勝しました。

去年走ったメンバーは男子女子とも一人ずつという快挙です。実際、会場では「今年の中瀬中男子は強いのか?」「いや去年のメンバーが抜けてそれ程でもないよ。」という声も聞こえていました。中瀬の主力は陸上部ではありません。それどころか校内の運動部のメンバーは男女とも半分前後です。

中瀬中では、毎年11月に体育で12分間走の授業を3回行います。ペースを考えバディを組んで12分間走る取組です。今年の最長は男子が3350m、女子が2960mでした。

◎キャプテン、①～⑤ 走順	
<女子メンバー>	<男子メンバー>
岩下 楓(3D)◎	③堀内瑠之介(3C)◎
古田 絹(2A)	④平石 聖太(3A)
③今里 菜央(2B)	⑤小山 流聖(3D)
④長谷川 環(1A)	尾澤 樹(2B)
②村本 望羽(1A)	田嶋 優翔(2C)
①高木 綾女(1B)	①千賀 由宇(2D)
水澤 明梨(1B)	②菊池 健太(2D)
⑤古屋 日葵(1D)	松野 泰知(1C)
大江 芽生(1E)	竹内 想楽(1E)



以前は1500m走の結果でメンバーを募っていたのですが、部活やクラブチームの試合で中々メンバーが集まりませんでした。

でも同じ時間を走る“対等”な12分間走になってからは、上位9人が揃う様になりました。そして、走る5人は“中瀬中みんなの代表”メンバー9人で練習し、区間の長さを考慮して決定されています。

中瀬中は駅伝に『オール中瀬のベスト選手』で臨みました。例え優勝でなくとも、**これが中瀬の流儀**です。

←女子、男子アンカーのラストスパート

今年最後の中瀬言葉の検定

1月15日(土)の中瀬言葉の検定の結果、3年生32名、2年生6名、1年生1名が40全ての暗唱を達成し、上級編に進みました。検定を手伝ってくれた保護者の方からは「最後の検定になる3年生の頑張りが素晴らしかった。」との言葉をいただきました。

3年	◎逢坂 真依 A(71 3段) 2段(60以上) 山竹 みれ B、高野 真帆 D、坂上 陽香 A、高橋 真希 A、 中尾 百花 D、初段(50以上) 5人
2年	◎山崎 玲来 D(69 2段)、初段 内池 美緒 A、1級(40以上) 4人
1年	◎高橋 璃子 D(40 1級)、2級(30以上) 6人

